

WHO ファクトシート

難聴と聴覚障害

Deafness and hearing loss

2018年3月

重要な事実

- ・全世界では、およそ4億6600万人の人々が日常生活に支障をきたすほどの聴覚障害を抱えており(1)、そのうち3400万人が子どもである。
- ・2050年までには9億人以上の人々が日常生活に支障をきたすほどの聴覚障害を抱えることになるかと推測されている。
- ・聴覚障害は、遺伝要因、出生時合併症、特定の感染症、慢性の耳感染症、特定の薬の使用、大音響ノイズへの暴露、加齢などに起因することがある。
- ・子どもの聴覚障害の60%は予防可能な原因によるものである。
- ・レクリエーションで設定されているノイズに暴露することによる聴覚障害のリスクに、11億人の若者たち(12~35才)がさらされている。
- ・対処されていない聴覚障害による世界での年間コストは7500億国際ドル(2)にのぼる。聴覚障害を予防し、診断し、対処することは、費用対効果が高く、個々人にも大きな恩恵をもたらすことができる。
- ・聴覚障害を抱える人々は、早期に診断されること、補聴器や人工内耳その他の補助器具を使うこと、字幕をつけることや手話、教育的で社会的なサポートによって恩恵を受けることができる。

注(1) 日常生活に支障をきたすような聴覚障害には、成人では良く聴こえる方の耳で40デシベル以上でも聞き取れないこと、子供では良く聴こえる方の耳で30デシベル以上でも聞き取れないことがあてはまる。

(2) 国際ドルは世界銀行により定義された通貨単位である。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Deafness and hearing loss ファクトシート原文は [こちら](#)